

令和3年度 教育課程研究指定校事業研究協議会資料

## 高等学校「総合的な探究の時間」研究発表

「総合的な探究の時間」の取組を基盤とし、  
教科等の学びとの関連を意識した  
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた  
授業改善、学習評価の在り方に関する研究

令和4年2月3日(木)  
北海道札幌北高等学校

# 1 探究学習に向けた取組について

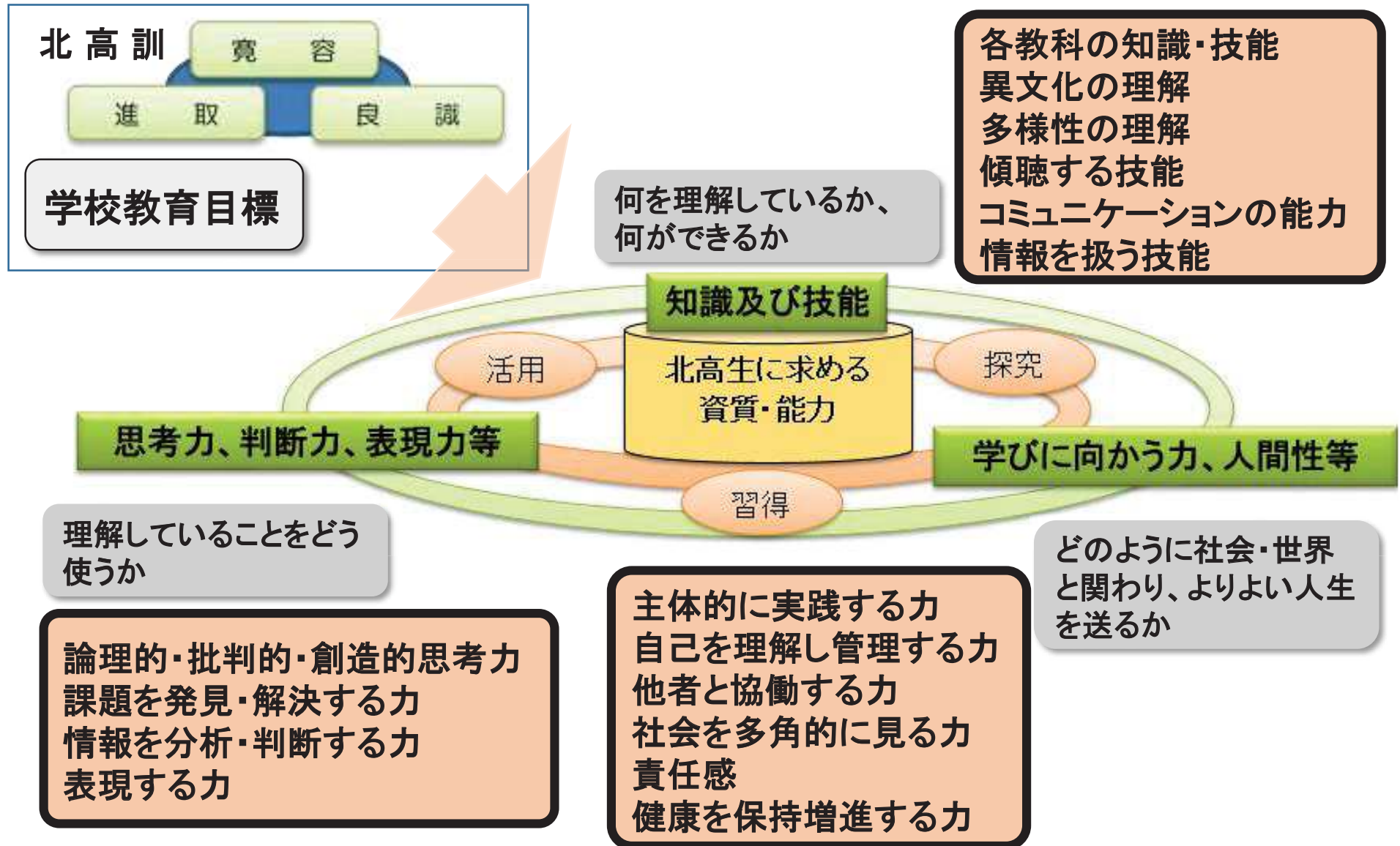
～学年における取組から全校へ～

# 教育課程研究指定校事業「総合的な探究の時間」校内体制概念図

北海道札幌北高等学校



# 北高で育成を目指す16の資質・能力





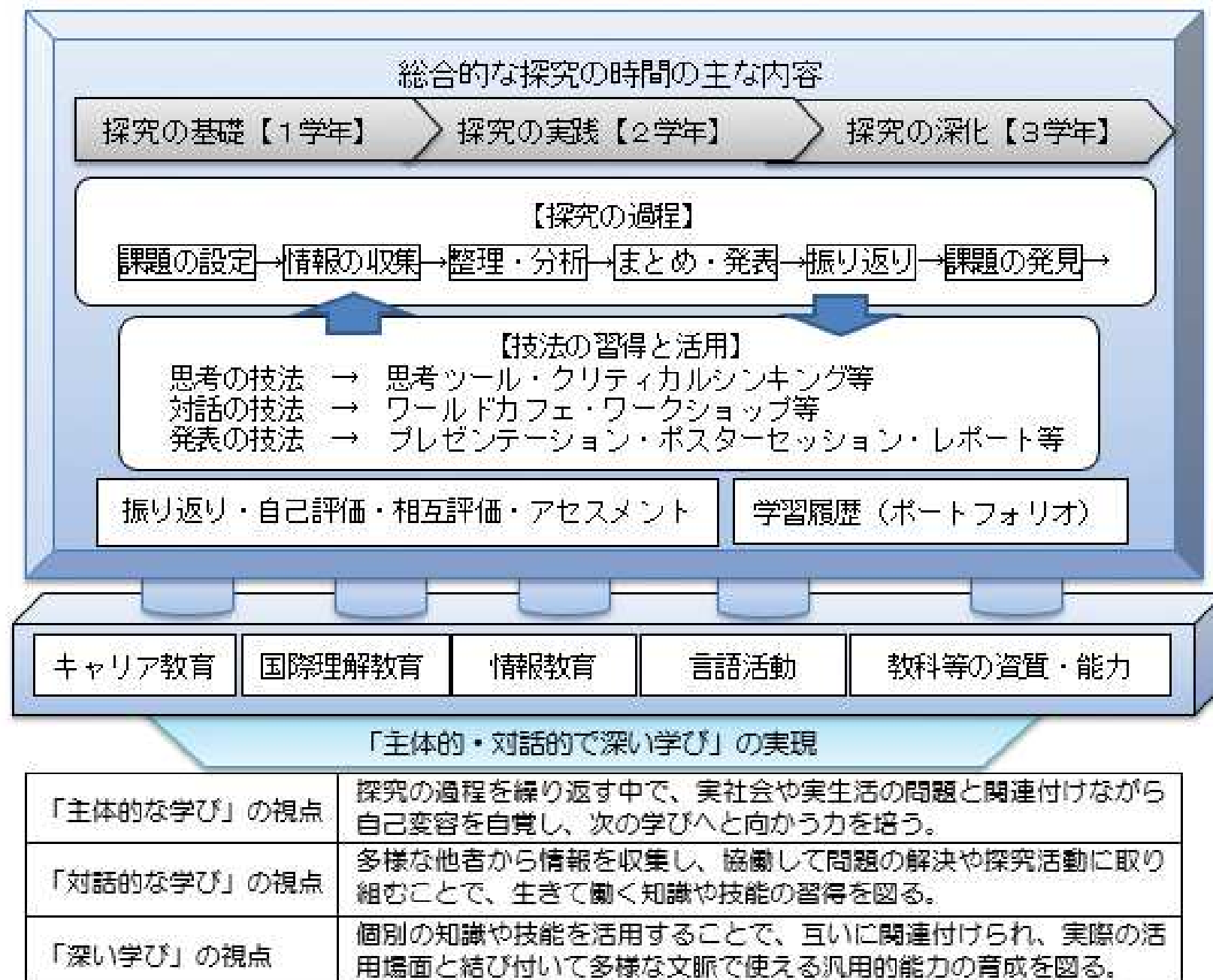
# 北海道札幌北高等学校「総合的な探究の時間」全体計画



学校教育目標	生きる力			資質・能力		
	① 確かな学力	② 豊かな心	③ 健やかな体	① 知識及び技能	② 思考力、判断力、表現力等	③ 学びに向かう力、人間性等
1 相互敬愛の心と豊かな情操を養い、自由と正義を尊び、責任と規律を重んずる態度の育成に努める。		○				○
2 進取の気風を培い、心身を錬磨し、国際社会の担い手としての人格形成に努める。		○	○			○
3 真理を探り、高い知性と良識ある判断に基づく公民的教養の向上を図るとともに個性の伸長に努める。	○	○		○	○	○

本校における総合的な探究の時間の目標  
教科横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し解決していくために、次の資質・能力の育成を目指す。

本校における総合的な探究の時間で育成を目指す資質・能力		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会と自己との関わりから問いを見だし、課題を立て、情報を集め、整理・分析して、表現することができるようにする。	探究に主体的・対話的に取り組むとともに、多様な他者と協働することで、新たな価値を創造し、より深い学びに向かおうとする態度を養う。



## 「総合探究」計画について

【1 学年】      【2 学年】      【3 学年】  
〈探究基礎〉    〈課題探究〉    〈探究ゼミ〉

探究の基礎 → 探究の実践 → 探究の深化

課題の設定→情報の収集→整理・分析

→まとめ・表現→振り返り→課題の発見→

という探究の過程を繰り返す。

3 学年

探究ゼミ

教科等横断・  
学びの深化

2 学年

課題探究

課題発見・探究  
・発表・レポート作成

1 学年

探究基礎

課題解決学習  
グループ協議

【1 学年】 探究の手法を学ぶ  
グループで探究を行う。

【2 学年】 課題を見付け探究する  
協働学習の中で、個人の思考力も育成する。

【3 学年】 学問探究  
探究の深化を目指す。 ※教科等横断的な学び

※「総合探究」とは、「総合的な探究の時間」の本校独自の科目名である。

## 3年間を見通した「総合探究」の計画

北海道札幌北高校 進路マップ

[illegible]

2年生	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	意識を変える4ヶ月			意識を確立する3ヶ月			受験生になる3ヶ月			夢に向かって踏み出す3ヶ月		
進路学習			第1回進路委員会 (進路選択)		オープンキャンパス	進路調査会		第2回進路委員会 (学級単位別委員会)			第3回進路委員会 (志望校別委員会)	進路決定大会発表と励み
総合学習	課題研究デザイン		第1回進路者説明会 志望校別(知本・飯沼)	小論文作成 進路調査会 (札幌・旭川等) 研究テーマ決定 アンケート調査			特別進路講座 進路センター発表	小論文作成 第2回進路者説明会			小論文作成 進路決定調査結果発表	進路決定大会発表
学力の向上	基本テスト		第1回学力調査 学力向上推進委員会 学力向上推進委員会	進研学力テスト		グループ研究 グループ別研究発表会					第1回学力調査 学力向上推進委員会	第2回学力調査 学力向上推進委員会

本校のキャリア教育の流れと探究の流れを可視化し、教員・生

本校のキャリア教育の流れと探究の流れを可視化し、教員・生徒ともに「いつ」「何を」身に付けるかを理解する。

[illegible]



# 3年間を見通した「総合探究」の計画

## 北海道札幌北高校 進路マップ

1年生	4月	5月	6月	7月	8月
	北高生になる4ヶ月			学習習慣を 大学(：近い未来)を (目標をやりきって)	
学校行事	入学式	他の160行事	夏服発表	学校祭 夏服発表 夏服体育祭	夏服発表 夏服体育祭
進路学習	<div>北高で育成を目指す16の資質・能力</div> 			学校祭	AGE18(開校10周年記念)オープンキャンパス
総合学習				学校説明会(来夏・来夏前) GPS-Academic 1月力養成プログラム	オープンキャンパス
学力の向上				浪研学力テスト	第2期休日学力テスト
【知識及び技能】	各教科の知識・技能				
異文化の理解	○ スタディーサポート	○ ふれあい着付け体験	○ 定期考査 休日講習	○ 各経講習 模範試験	○ 各経講習 模範試験
多様性の理解	○ 新入生歓迎会		○ 学校祭準備	○ 学校祭	○ AGE18
複雑化する技能	○ 宿泊研修			○ 浪学説明会	○ オープン キャンパス
コミュニケーションの技能			○ 学校祭準備	○ 学校祭	○ 夏季体育
情報活用技能			○ 進路の発表会	○ AGE18	○ AGE18
【思考力・判断力・表現力等】	論理的・批判的・創造的思考力				
課題を発見・解決する力	○ スタディーサポート		○ 学校祭準備	○ 学校祭 GPS	○ AGE18
	○ 宿泊研修		○ 学校祭準備	○ 学校祭 GPS	○ AGE18

本校で育成を目指す16の資質・能力を「いつ」「どの場面で」身に付けるのかを可視化する。教員間の共有も兼ねて作成している。

道德教育と探究との接続や、個々の取組から全体の取組への広がりを目指す。

## 1 学年の「総合探究」〈探究基礎〉計画について

### 【1 学年】探究の手法を学ぶ

- グループで探究を行う。
- ・時間割の中に組み入れる(H30～)
- ・理念の理解・思考ツールの獲得・スキルの育成と定着を目指す。
- ・教科との関連性を意識する。

1 学年

宿泊研修

探究の基礎

AGE 1 6  
(進路学習)

レポート作成・  
シェアリング・  
研究成果発表

クリティカル  
シンキング

情報分析  
意見発表

課題研究

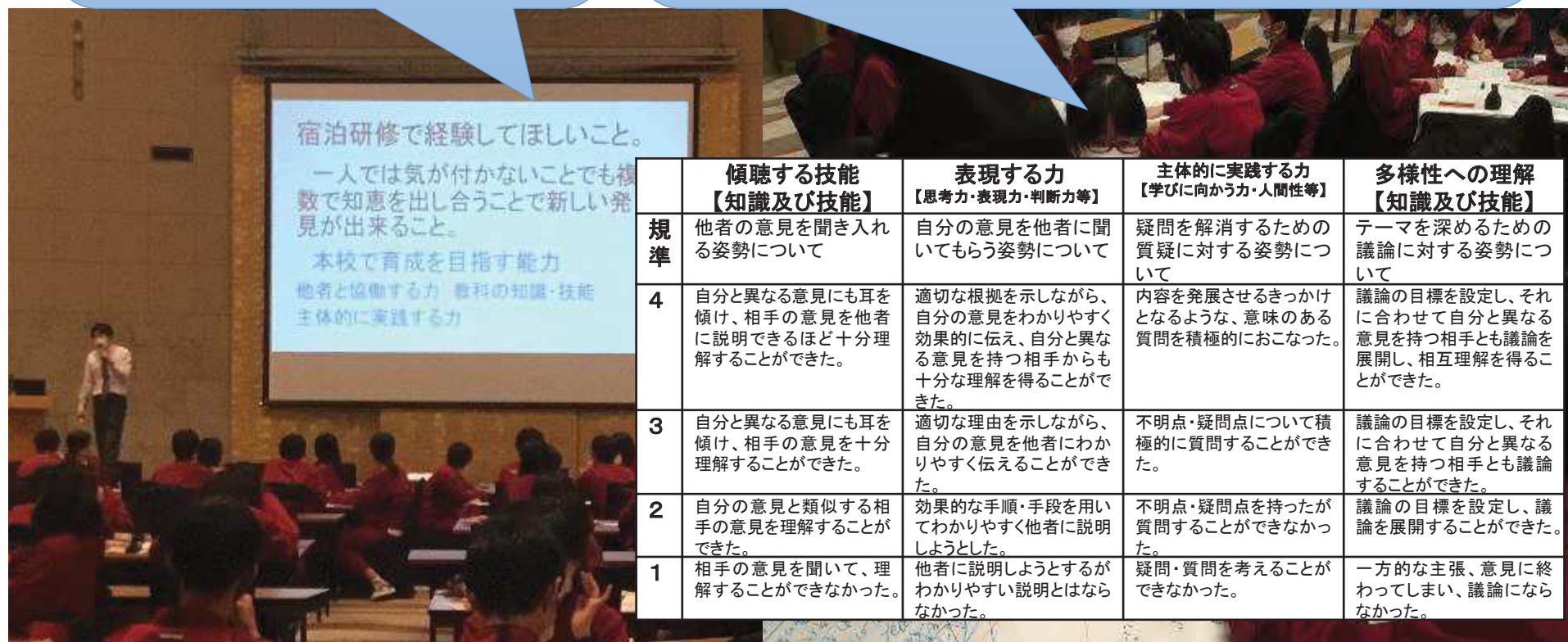
課題設定・情報収集  
プレゼンテーション

〈進路〉外部テストの活用・民間会社Web検索HPの利用  
〈国語〉ブックレポート・意見文・統計資料の読み取り  
〈英語〉スピーチ・プレゼンテーション大会  
〈情報〉ポートフォリオ・ICT・データ分析  
＊ 実施時期が重複しないよう調整しながら実施

# 〈探究基礎〉で探究の手法を学ぶ 宿泊研修・ワールドカフェ

育成を目指す資  
質・能力の提示  
趣旨の理解と共有

テーマ「北高生としてあるべき姿  
とは」=答えのない問いに対し協  
働して論理的に考察する。



宿泊研修で経験してほしいこと。

一人では気が付かないことでも複  
数で知恵を出し合うことで新しい発  
見が出来ること。

本校で育成を目指す能力  
他者と協働する力 教科の知識・技能  
主体的に実践する力

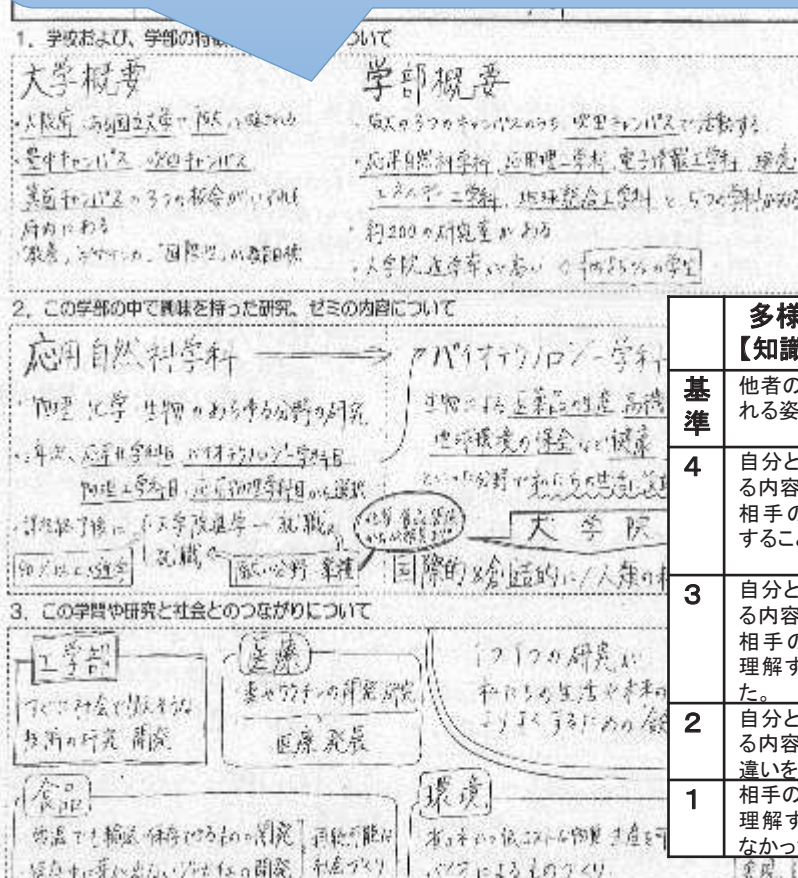
	傾聴する技能 【知識及び技能】	表現する力 【思考力・表現力・判断力等】	主体的に実践する力 【学びに向かう力・人間性等】	多様性への理解 【知識及び技能】
規 準	他者の意見を聞き入れ る姿勢について	自分の意見を他者に聞 いてもらう姿勢について	疑問を解消するための 質疑に対する姿勢につ いて	テーマを深めるための 議論に対する姿勢につ いて
4	自分と異なる意見にも耳を 傾け、相手の意見を他者 に説明できるほど十分理 解することができた。	適切な根拠を示しながら、 自分の意見をわかりやすく 効果的に伝え、自分と異 なる意見を持つ相手から 十分な理解を得ることが できた。	内容を発展させるきかけ となるような、意味のある 質問を積極的におこなった。	議論の目標を設定し、それ に合わせて自分と異なる 意見を持つ相手とも議論 を展開し、相互理解を得る ことができた。
3	自分と異なる意見にも耳を 傾け、相手の意見を十分 理解することができた。	適切な理由を示しながら、 自分の意見を他者にわか りやすく伝えることがで きた。	不明点・疑問点について積 極的に質問することがで きた。	議論の目標を設定し、それ に合わせて自分と異なる 意見を持つ相手とも議論 することができた。
2	自分の意見と類似する相 手の意見を理解することが できた。	効果的な手順・手段を用い てわかりやすく他者に説明 しようとした。	不明点・疑問点を持ったが 質問することができなかった。	議論の目標を設定し、議 論を展開することができた。
1	相手の意見を聞いて、理 解することができなかった。	他者に説明しようとするが わかりやすい説明とはなら なかった。	疑問・質問を考えることが できなかった。	一方的な主張、意見に終 わってしまい、議論になら なかった。



# 〈探究基礎〉で探究の手法を学ぶ AGE-16(進路学習)

調べた内容をレポートにまとめる。

相手にわかりやすいように  
情報を集約し、資料を作  
成・発表する。



	多様性の理解 【知識及び技能】	情報を扱う能力 【知識及び技能】	論理的・批判的・ 創造的思考力 【思考力・表現力・判断力等】	課題を発見・解決する 力 【思考力・表現力・判断力等】	社会を多角的に見る力 【学びに向かう力・人間性等】
基準	他者の考えを聞き入れる姿勢について	データを活用し他者に聞いてもらう姿勢について	情報から、分析や統合を行う姿勢について	課題発見とそれを解決に導く姿勢について	与えられた情報から広い視点をもつ姿勢について
4	自分と希望とは異なる内容にも耳を傾け、相手の意見を尊重することができる。	データや事例を紹介しながら、効果的な情報を提示し、自分の意見をわかりやすく伝えることができた。	多様な情報を分析し結びつけ、新たな考えを模索し自分の意見を明確にすることができた。	目標から疑問を見つけ、それを整理しまとめることができる。	様々な情報から、その意味合いを理解し、協働をしながら、柔軟に内容を改善できた。
3	自分と希望とは異なる内容にも耳を傾け、相手の意見を十分理解することができた。	データを示しながら、自分の意見を他者にわかりやすく伝えることができた。	多様な情報を分析し結びつけ、自分の意見を明確にすることができた。	目標から疑問を見つけ、それを整理しまとめることができる。	様々な情報から、その意味合いを理解し、柔軟に内容を改善できた。
2	自分と希望とは異なる内容にも耳を傾け、違いを理解できた。	効果的なデータを用いてわかりやすく他者に説明しようとした。	多様な情報を分析し結びつけることができた。	目標から疑問を見つけ、それを整理しまとめようと努力した。	様々な情報から、内容を見直した。
1	相手の意見を聞いて、理解することができなかった。	資料を活用するがわかりやすい説明とはならなかった。	情報を結びつけ考えることができなかった。	疑問を見いだすことができなかった。	意味合いを理解できず、内容を見直すに至らなかった。



# 〈探究基礎〉で探究の手法を学ぶ クリティカルシンキング

## マシュマロチャレンジ

- ① パスタを用いて、自立できるできるだけ高いタワーを建てる。
- ② 制限時間 18 分（作戦タイムも含む）。
- ③ タワーの上にマシュマロを置く（刺しても良い）。机からマシュマロまでの高さを測る。
- ④ パスタは切ったり、折ったりしても良い。
- ⑤ パスタをテープやひもでつなげてかまわない。
- ⑥ 計測中は手でささえてはいけない。手を離して崩れたら失格。

グループで批判的・協働的・創造的思考力を育成する。



## 〈探究基礎〉で探究の手法を学ぶ 道徳教育・ワールドカフェ

新渡戸稲造からの  
武士道を考える。



「義」「勇」などを考える。  
「道徳文化と多様性」を議論する  
ことでメタ認知を促す。

# 〈探究基礎〉で探究の手法を学ぶ 課題研究

協働学習の中で、課題を発見・解決する力を育成する。

成果を発表し、聴衆からの質問に答える。



聴衆として積極的に発表に参加する。

